

課題名 : 2. (1) 湖山池塩分導入試験影響調査

事業名 : 湖山池漁場環境回復試験

予算額 : 6,344 千円 (一部国庫)

期間 : 平成 17~22 年度

担当 : 生産技術室 (福井利憲)

目的 :

塩分導入試験が湖山池に生息している魚介類に与える影響を把握する。

成果の要約 :

池内の魚介類の種類数は昨年より減少した。6月上旬から11月上旬まで貧酸素水塊が観測された。

i) 試験の内容

a) 池内魚介類分布調査

池口と奥部に小型定置網を夕方に設置し、入網魚等を翌日の朝に取り揚げた。調査は毎月1回行った。

b) 湖山川回遊魚類分布調査

湖山川水門上流側と下流側に小型定置網を夕方に設置し、入網魚等を翌日の朝と夕方に取り揚げた。調査は毎月1回行った。

c) 水質測定

池内 10 定点で週 1 回、水深 50cm 毎に、DO、塩分、水温を水質計(YSI 社製 Model85)で測定した。

ii) 結果の概要

a) 池内魚介類分布調査

魚介類の種類数はやや減少した (図 1)。

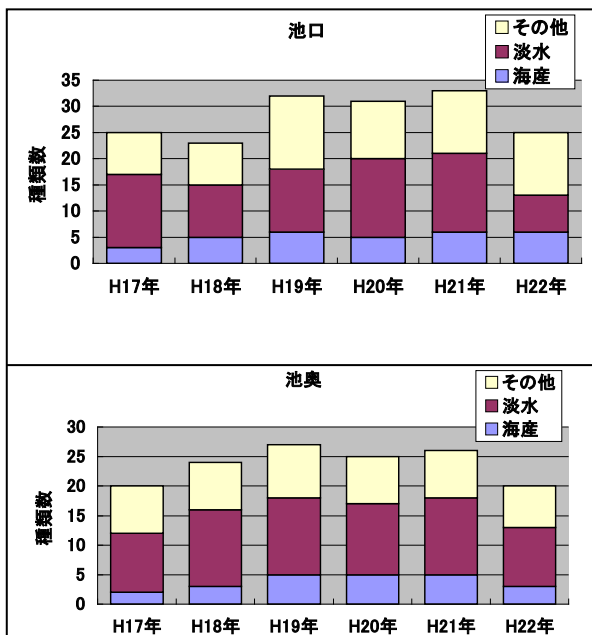


図 1 池内に設置した小型定置網に入網した魚介類の種類数 (4~11 月)

b) 湖山川回遊魚類分布調査

ワカサギ・シラウオは水門下流で多く採捕される傾向にあった (図 2)。

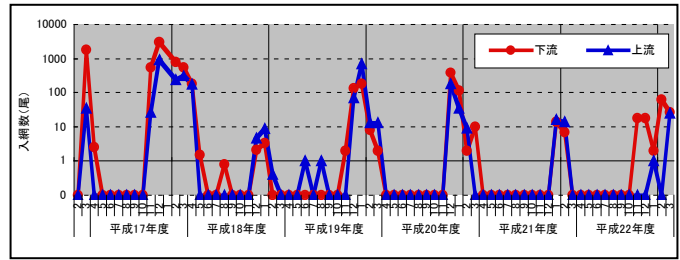


図 2 湖山川に設置した小型定置網に入網したワカサギ

c) 水質測定

6月上旬から11月上旬まで貧酸素水塊が観測された。

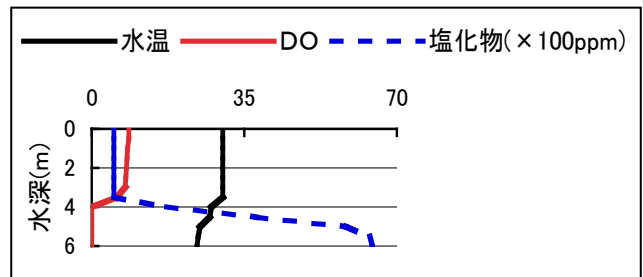


図 3 池内最深部 (黒岩) における 7 月 28 日の水質

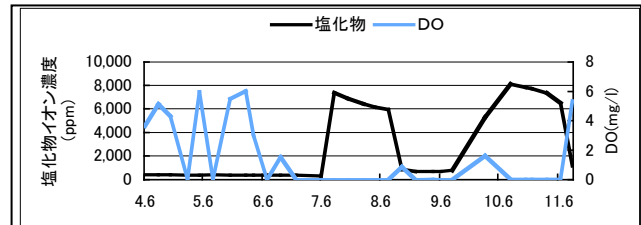


図 4 池内最深部 (黒岩) の底層の水質

成果の活用 :

- ・湖山池塩分導入実証試験を評価する基礎資料とした。
- ・湖山池漁協へ報告した。

関連資料・報告書 :

なし